

総務文教常任委員会資料

令和6年8月13日

教育委員会事務局
こども未来部 こども教育課

目 次

1. 公立こども園等の統合について . . . 1

2. 滝野地域アフタースクールの基本設計について . . . 4

公立こども園等の統合について

1 公立園の統合について

現在、本市では、公立園3園（加東みらいこども園、米田こども園、鴨川保育園）を運営しているが、平成27年度に策定した「公共施設適正配置計画」において、米田こども園と鴨川保育園は、令和7年度の社地域小中一貫校開校と同時に、加東みらいこども園へ統合することとしている。

本市における公立園については、同計画に基づき、これまで公立幼稚園や認定こども園を段階的に集約してきたが、引き続きその取組を進め、職員を効率的に配置することで、多様化する保育ニーズに適切に対応し、質の高い幼児教育・保育を提供するとともに、入所希望が多い0歳児・1歳児の受け皿を拡充し、待機児童の解消に努める。

2 統合後の定員について

○令和6年4月1日現在における公立園3園の定員総数は330人であるが、今後の人口減少や、市内認可保育施設及び兵庫教育大学附属幼稚園の定員に空きがあることを踏まえ、統合後（令和7年4月）の加東みらいこども園の定員は288人とする。

○統合後の2歳児以上の定員については、現行の公立園3園の合計定員数から減らすものの、入所希望の多い0歳児・1歳児の定員については、現行から0歳児は1人増、1歳児は6人増とする。

○統合後における加東みらいこども園のクラス数については、現行の加東みらいこども園のクラス数から2クラス増設する。

- ・現行の加東みらいこども園のクラス数：12クラス
0歳児から5歳児：各2クラス
- ・統合後の加東みらいこども園のクラス数（予定）：14クラス
0歳児、2歳児、4歳児、5歳児：各2クラス、1歳児、3歳児：各3クラス

【現行（統合前）の定員】（令和6年4月1日現在） （単位：人）

施設名	認定	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	
加東みらいこども園	教育				15	20	20	55	250
	保育	20	25	35	35	40	40	195	
米田こども園	教育				1	1	1	3	60
	保育	3	6	11	12	12	13	57	
鴨川保育園	保育		3	4	4	4	5	20	
合計	教育	0	0	0	16	21	21	58	330
	保育	23	34	50	51	56	58	272	
	計	23	34	50	67	77	79	330	

【統合後の定員】

(単位：人)

施設名	認定	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	
加東みらいこども園	教育				15	15	15	45	288
	保育	24	40	44	45	45	45	243	
	計	24	40	44	60	60	60	288	

【定員の増減】

(単位：人)

増減 (統合後－統合前)	教育				△ 1	△ 6	△ 6	△ 13	△ 42
	保育	1	6	△ 6	△ 6	△ 11	△ 13	△ 29	
	計	1	6	△ 6	△ 7	△ 17	△ 19	△ 42	

【市内認可保育施設の合計入所児童数及び定員】(令和6年4月1日現在)

(単位：人)

区分	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
定員	74	135	195	284	320	333
入所児童数	55	143	195	282	275	287
差引	19	▲8	0	4	45	46

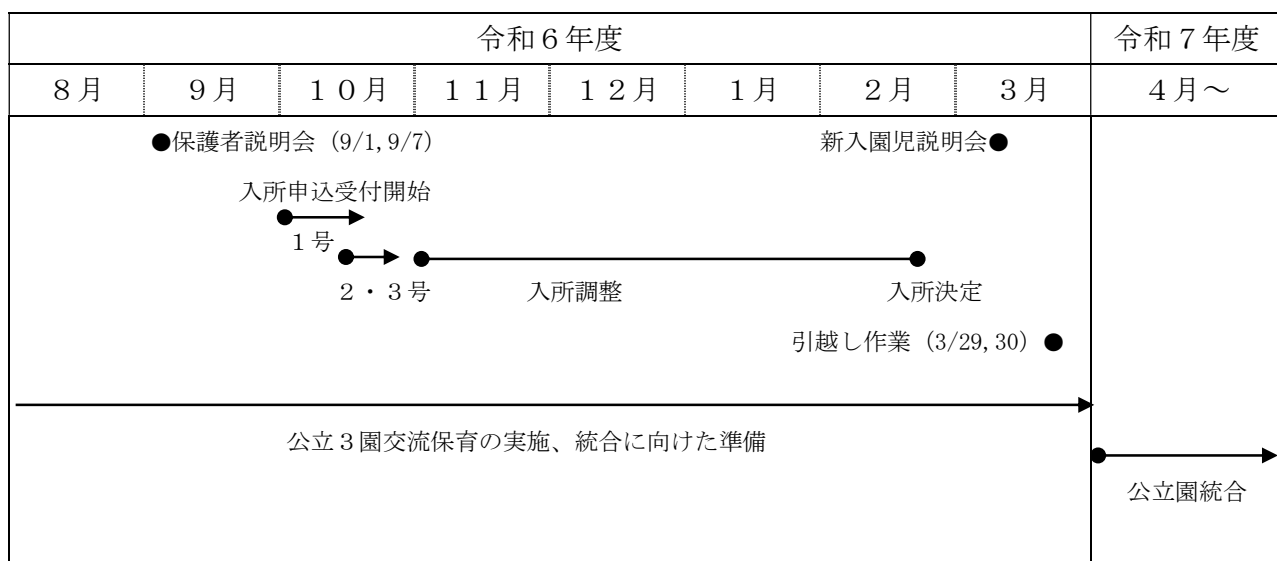
※0歳児については、年度途中の入所児童が多いため、4月時点では空きが出ている。

※令和6年4月1日現在の待機児童数は、0歳児で1人発生している。

3 公立園3園の統合に向けたこれまでの取組について

- 平成27年度に、公立園の職員で教育・保育カリキュラム検討会を開催し、有識者を招聘して協議を重ね、公立園共通教育・保育カリキュラムを2年間かけて作成
- 平成30年度に市内公立園において上記カリキュラムの試行を経て、翌年度から本格運用を開始
- 公立園の職員の教育・保育の知識やスキルを互いに共有できるよう、合同研修を計画的に実施
- 統合に伴う保護者の不安を軽減し、子どもたちが安心して新しい環境に移行できるよう、公立園に通う園児の交流を深めるための交流保育を計画的に実施
- より良い環境で園生活が送れるよう、施設環境を整備（門扉の設置等）
- 公立園の統合の際に、用品等の買い替え等で保護者の経済的な負担が出来る限り発生しないよう、年齢ごとの帽子の色を合わせるなど購入用品を公立3園で調整
- 毎年の入所案内時に新規入所希望者に対して社地域小中一貫校の開校時に公立園が統合する予定であることを周知

4 公立園3園の統合に向けた今後のスケジュールについて



※公立園に通う園児の保護者を対象に、9月に保護者説明会を開催

滝野地域アフタースクールの基本設計について

1 施設概要

構 造：在来鉄骨造 2階建て

面 積：延床面積約 989 m²（建築面積約 520 m²）

定 員：180 人（受け入れ可能人数 210 人程度）

駐車場台数：25 台

開 所 時 期：令和 10 年 4 月～（滝野地域小中一貫校開校時）

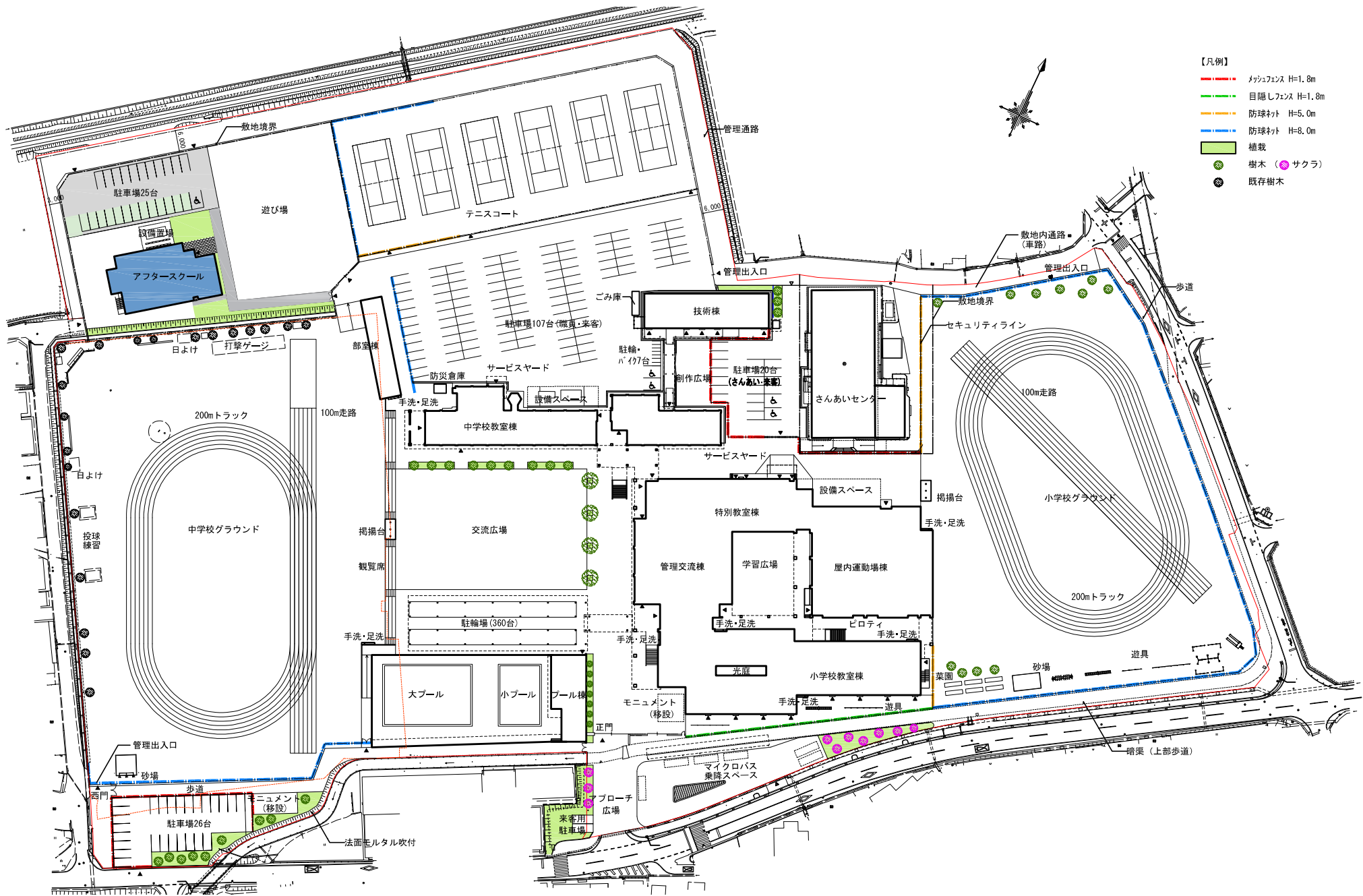
概算工事費：約 494,000,000 円（税込）

工 事 期 間：令和 9 年度中（令和 10 年 2 月末完成予定）

■計画諸室

保育室 5 室、静養室、休憩室（兼湯沸室）、プレイルーム、職員室、
倉庫、玄関、男女別トイレ（各階）、多目的トイレ（各階）、手洗い場、
エレベーター、屋外階段

2 全体配置図



3 配置計画・平面計画

1 アフタースクール配置計画

(1) 安全なアプローチ

・アフタースクールに直接アクセスできるルートを設定し、児童の安全を図ります。

(2) 敷地内のセキュリティ

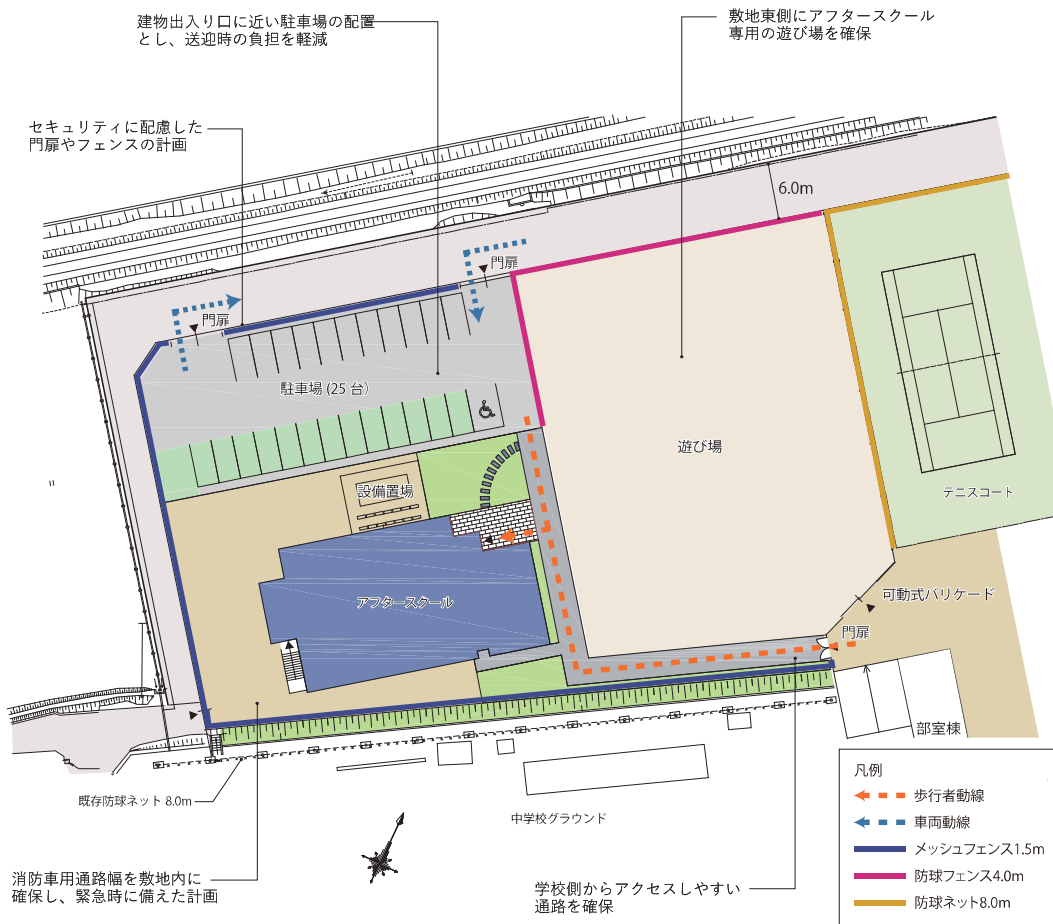
・門扉やフェンスの設置、見通しの良い建物の配置計画により、防犯性を高めます。

(3) 専用の遊び場

・敷地の東側にアフタースクールの児童が専用で利用できる遊び場を設ける計画とします。

(4) 送迎のしやすさ

・建物出入りに近い駐車場の配置、雨天時の送迎に配慮したピロティの計画により、送迎者の負担軽減を図ります。



2 アフタースクール平面計画

(1) コンパクトで明快な平面計画

・単純な中廊下形式により各ゾーンへつながるコンパクトで機能的な計画とし、支援者の目が行き届きやすいようにします。

(2) わかりやすい避難経路の確保

・廊下を直線形状とし、階段を東西にバランスよく配置することで、わかりやすく安全な避難計画とします。

(3) 日当たり、風通しの良い環境

・建物形状を東西面に長く計画することで、各室で南北面からの採光を確保し、西日の影響に配慮します。

(4) 児童の多様性に配慮した計画

・多目的トイレの設置、静養室を隣接させた保育室など、児童の多様性にも配慮した計画とします。



4 建築イメージ



駐車場からのイメージ



小中一貫校側からのイメージ



駐車場からのイメージ（正面）



遊び場からのイメージ